

東日本全体で組織拡大にむけ、取り組もう！



品川駅「川上泰明君 激励歓迎会」報告

10月14日



(組合員の購読料は) 組合費に含まれます
港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 719 定価 20円

2011年 12月 8日

支えあい笑顔で作る
明るい職場、
あなたの加入が未来をなく!!
<http://www.e-nru.com>
携帯用ホームページはこちらのQRコードから

東日本大会後の9月12日、東京地本新橋支部・品川駅分会にて一括和解後93名となる仲間の国労加入を迎え入れた。今号は、①品川駅分会の激励歓迎会、②「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」提案の第二次解明交渉を終えて、③東北三地本活動家交流会、としました。

国労品川駅分会は、昨年の1月1日、佐々木さんの国労加入を実現したのち、組織強化・拡大を、分会の組織活動として運動を進め、9月12日、28歳グリーンスタッフ(GS)の川上君を国労に迎えることができました。

歓迎会は、桐山書記長の司会で始まり、熊瀬分会長から「川上君の国労加入を全組合員が歓迎します。一緒にがんばりましょう！」と挨拶されました。続いて来賓で駆けつけていただいた東日本本部高野委員長より「グリーンスタッフ(GS)の方の雇い止め問題があり、国労は正社員化を求めて運動し会社に申し入れてきている。川上君に続く国労加入を進め働きやすい職場を創っていきたい」と激励の挨拶を受けました。更に東京地本・宮崎組織部長から激励と「国労手帳と組合員証・組合バッジ」が手渡され、熊瀬分会長の手によって川上君の左胸に国労バッジがつけられ、参加され

た仲間の大きな拍手に包まれました。

歓迎後、新橋支部谷崎委員長から、この間の支部としての組織拡大の取り組みの報告がされました。品川駅分会からは、退職を迎える組合員やエルダー組合員の先輩から激励の言葉と共に、満面の笑みでお互いガッチリ握手を交わし喜びを表していました。

最後に川上君より「国労に加入できて嬉しいです！今後もよろしくお願いします」と少々お酒が入っていた模様でしたが、晴々とした表情の中にも嬉しさと逞しさがにじみ出ていました。最後に熊瀬分会長の団結ガンバローでさらなる組織の強化・

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」
火を見るよりも明らか。しかも今回の施策は、これまでのように部分的な業務委託拡大ではなく、仕業検査や機動班業務のほとんどを切り分けてグループ会社へ業務委託するというもの。この施策が実施されると、労働条件が変更され、切り下げられることが想定できる。移行時にはJR職場の要員数や業務のやり方が維持されるが、グループ会社へ移行後はその会社の体力に応じたコストダウン等の効率化が予想されるからだ。

さらに、業務の指揮命令に おける「偽装請負」という事態が発生しかねないことがあげられる。私たちが最も危惧しているのは、「偽装請負」という違法行為になりかねない無理な手法で委託した結果としての安全性の低下である。安全輸送は鉄道の命であり、どんなことがあっても手放してはならない。業務委託によって、作業方法の変更や業務量の増加から、結果として十分なメンテナンスができず事故につながる恐れが強く懸念される。

第二次解明要求交渉を終えて

国労東日本本部

この事案は、2009年10月29日に提案され、同年12月7日に第一次解明要求交渉が行われた。その後、2010年1月28日に第二次解明要求84項目を申し入れ、団体交渉の開催を求めてきた。しかし、これ以降団体交渉はストップし、1年9カ月ぶりの10月31日に第二次解明要求交渉が再開されるに至った。

JR東日本は施策の目的として、エルダー社員の職場確保をあげているが、業務委託を拡大することで、さらなる効率化とコストダウンを図ろうとする施策であることは拡大を全体で確認、出席者全員で記念写真を撮り、組合員の親睦と交流を深めるために二次会へ

と散会しました。(新橋支部発)



東北協議会第26回総会

東北全体が 組織拡大にむけ意思統一

東北協議会は、10月22日、宮城県松島において「東北三地本活動家交流集会」を開催した。同地において開催された国労会館主催の労働学校に参加し、関西大学安部誠治氏による講演、「東日本大震災と交通機関の現状」も受講している。

活動家交流集会では、国労本部真子書記長、東日本本部松井書記長より、それぞれ、不採用問題の終結から今後の国労の課題について、エルダー問題・検修外注化・人事賃金制度・労働協約の交渉状況、そして最重要課題である組織強化・拡大にむけて報告がされた。

組織拡大では、東北全体で実践するために、今年7月に新規採用者の拡大を実現した大船保線区分会から天崎さん、そして加入した田村さんを招き報告を受けた。(別掲)

**第26回総会を確立された
東北協議会役員**
議長 齋藤庄司(盛岡)
副議長 渡邊敦(秋田)
事務局長 大沼元(仙台)

自らの選択で加入

田村さん

大学では、土木技術を学んだ。前の年に入社した人と交流があり、組合は面倒だとこぼしているのを聞いていたので、JRの組合についてネットで調べて大まかに知った。
3月11日は配属通知式で支社にいたときに地震にあった。当日は、10時間歩いて自宅に戻った。
入社直後同期と話し、寮に入る人は部屋で、なかなか分からないまま判を押したと言っていた。自分は自宅なのでその時点ではまだ接触はなく、去年入社の人



入社後の会社説明で組合の話がされ、複数の組合があること、オープンシヨップ制だから加入未加入は自由なこと、どの組合に加入してもしなくても試験など

できると思っていた。国労の先輩方は、研修中も色々心配してくれたりした。研修中同期と話題になるのは、国労のおじさんたちがきちんとしているというところ。そう見ていると、入るならば国労と判断した。

同期はマジで？とびっくりにしていたが、国労に加入した今も、まわりとの付き合いは変わらない。
良い職場に入ったと思う。来年からは、若い人は全員東労組に入っていると聞き、配属後すぐに声を

明会の開催を決定し、仲間との意志疎通に向け議論を積み上げたこと、会社への施設利用申請、他労組との調整、配属者へのアポ取りをみんなで行ったからチャンスが広がり、加入に結びついたと思う。
国労も一つのチーム。チームがしっかりしてないと誰も子供は預けない。サッカーと一緒。良いチームには人が集まる。

チャンスを広げよう！

天崎さん

私はサッカーが好きで、NPO法人を立ち上げ、子供達に教えるなどの活動している。組合活動は今も積極的ではない方。若い人達と付き合いはあったが、拡大は考えていなかった。

田村君配属にあたり、分会集会を開き施設利用を会社に求め、機関指導の組合説明会をやろうと思いついた。み

サッカーのシュートと同じで、1試合中で何度もチャンスはない。それくらいの割合の田村君の加入だったと思う。シュートチャンスは1秒から2秒にするか3秒にするか3秒の事。分会が組合説



5月から研修になり、3ヶ月間入るので、これからは組合から逃げ切れると思っていた。
ある時、国労の人と現場長とのやり取りを聞いていて、国労の方の意見に賛同

んなで協力しあってきた。昨年「早いもん勝ちだ」と他労組に言われ、配属と同時に取られ悔しい思いをしたので、配属後すぐに声

最新のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」です。

生きるためのがん保険 Days

「生きる」を創る。 **Affac**

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) 東京第三法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-0396

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF007-2011-0293 6月22日